



ハイメス

HIMES

創立 30 周年記念

Hokkaido International Music Exchange Society

第 30 回 ハイメスコンクール<管・弦・打楽器部門> 参加者募集

2018 年 3 月 22 日 (木) 午前 11 時 開始予定

※開始時間は変更になる場合があります。

北広島市芸術文化ホール(花ホール) JR 千歳線 北広島駅前 徒歩 1 分

北広島市中央 6 丁目 TEL:011-372-7667

- 趣 旨** ハイメス (北海道国際音楽交流協会) の設立趣旨に基づき、北海道ゆかりの若い音楽家の海外研修を支援し、北海道の音楽文化の一層の充実と、音楽分野での国際交流を推進するために実施します。なお、2019 年は<声楽部門>、2020 年は<ピアノ部門>を実施する予定です。
- 参加資格** 下記の条件をすべて満たす方。
 1 1987 年 1 月 1 日から 2000 年 12 月 31 日の間に出生した方。
 2 北海道で出生、あるいは学校教育を受けた方、あるいは北海道で音楽活動の経験の有すると認められる方。
 3 第 1 位入賞の場合、コンクール実施後、原則として 2 年以内に海外の大学、音楽教育機関で 10 ヶ月以上の研修が可能なる方。
- 参加料** 20,000 円 (ハイメスアーティスト会員は 15,000 円) (参加料は原則として返還しません)
- 演奏曲目及び時間** 曲目は自由です。演奏時間は 15 分以内(厳守)とし、その時間内であれば 2 曲以上でも結構です。但し、参加者多数の場合、演奏時間を短縮することがあります。事前に楽譜の提出を求めています。(コピー譜可)
- 応募方法** 参加申込書に参加料を添えて、**郵便書留**で下記ハイメス事務局宛に郵送してください。参加申込書は、下記事務局にご請求下さい。なお、申込書は当会ホームページからもダウンロードできます。ハイメスホームページ URL <http://www.himes.jp/>
- 申込締切** **2018 年 2 月 9 日(金) 必着**
- 審査委員** 委員長 新田 ユリ (愛知室内オーケストラ常任指揮者・日本シベリウス協会会長)
 委員 沓野 勢津子 (マリンバ奏者、札幌大谷大学非常勤講師)
 委員 福島 紫 (ヴァイオリン講師・桐朋学園大学付属「子供のための音楽教室」講師・ハイメス会員)
 委員 余田 安広 (元札幌トロンボーン奏者)
 委員 渡部 大三郎 (元札幌クラリネット奏者) (敬称略・五十音順)
- 発表** 当日コンクール終了後、会場で発表し、表彰式を行います。
- 講評** 各審査委員に参加者それぞれの講評を書いていただき、後日、送付いたします。
- 表彰** 第 1 位入賞者には海外研修を支援するため、50 万円を贈呈します。副賞として(株)宝石の玉屋様提供の“純金ウィーン金貨 ハーモニー”(1 オンス)が贈られます。第 2 位入賞者には、総額 10 万円を贈呈します。
- 賞金の贈呈** 第 1 位入賞者の賞金は、海外研修計画が具体化した段階で贈呈します。
- 入会** 入賞者はハイメスアーティスト会員として入会いただきます。
- 報告書ほか** 留学期間中と帰国後に各 1 通の報告書を事務局に提出していただくとともに、帰国後、ハイメス主催のコンサートに出演する機会を設けます。

このコンクールは公開いたします。(入場無料)

NPO 法人 北海道国際音楽交流協会 (ハイメス)

〒060-0001 札幌市中央区北 1 条西 3 丁目札幌 MN ビル 6 階 SIS 内

TEL:011-232-7592 (お問い合わせ時間 月～金曜日の 10 時～17 時)

FAX:011-232-7793 メール office@himes.jpハイメスホームページ URL <http://www.himes.jp/>

ハイメスコンクールとは

1989年に始まったハイメスコンクールは、声楽、ピアノ、管・弦・打楽器の3部門からなり、毎年1部門ずつ開催されます。毎年1月に開催されるハイメス・チャリティ・ニューイヤーディナーコンサートの収益金が入賞者の海外研修助成資金と、コンクール開催費に活用されます。

ハイメスコンクール入賞者一覧表

回数	年度	部門	順位等	受賞者氏名	研修地
第1回	1989年	ピアノ	第1位	矢野 裕子	ベルギー (ブリュッセル)
		声楽	第1位 第2位	立野 至美 鶴飼小百合	イタリア (ミラノ) ドイツ (ミュンヘン)
第2回	1990年	管弦打	第1位 (チューバ) 第2位 (トランペット)	鈴木 浩二 櫻井 匡	ドイツ (ミュンヘン) ドイツ (ベルリン)
第3回	1991年	ピアノ	第1位 第2位	長尾 洋史 丸山 滋	オーストリア (ザルツブルク) ドイツ (ミュンヘン)
		声楽	第1位 第2位 第2位	堀内 康雄 高橋 節子 平野 則子	イタリア (ミラノ) ドイツ (ミュンヘン) イタリア (ミラノ)
第4回	1992年	管弦打	第1位 (フルート) 第2位 (ファゴット)	佐藤こずえ 笠原 禎	ドイツ (ミュンヘン) オーストリア (ザルツブルク)
第5回	1993年	ピアノ	第1位 第2位	安田 裕樹 千野 宜太	ハンガリー (ブダペスト) ハンガリー (ブダペスト)
		声楽	第1位 第2位	豊島 雄一 森川 栄子	イタリア (ローマ) ドイツ (ベルリン)
第6回	1994年	管弦打	第1位 (ヴァイオリン) 第2位 (ヴァイオリン)	高島 敦子 三原 豊彦	アメリカ (ニューヨーク) ドイツ (アウグスブルク)
第7回	1995年	声楽	第1位 第2位 第2位	針生美智子 服部 麻実 坂本知亜紀	イタリア (ローマ) ロシア (モスクワ) フランス (パリ)
第8回	1996年	ピアノ	第1位 第2位	石田 敏明 小杉 恵	ドイツ (ベルリン) ハンガリー (ブダペスト)
第9回	1997年	管弦打	第1位 (ヴァイオリン) 第2位 (ヴァイオリン)	三瓶 佳紀 上山 幸子	ドイツ (カールスルーエ) フィンランド (ヘルシンキ)
第10回	1998年	声楽	第1位 第2位 第2位	坂本知亜紀 後藤ちしを 谷地田みのり	フランス (パリ) オーストリア (ウィーン) イタリア
第11回	1999年	ピアノ	第1位 第2位 第2位	森吉 亮江 吉野 智子 遠藤 奏恵	ベルギー (ブリュッセル) イタリア ドイツ (ミュンヘン)
第12回	2000年	管弦打	第1位 (ホルン) 第2位 (フルート)	高島 拓哉 立花 雅和	フィンランド (ヘルシンキ) フランス (パリ)
第13回	2001年	声楽	第1位 第2位	後藤ちしを 早坂 佳子	イタリア (ミラノ) ドイツ (ミュンヘン)
第14回	2002年	ピアノ	第1位 第2位	橋野 沙綾 藤谷奈穂美	スイス (ジュネーブ) イタリア (サンチェサリオ)
第15回	2003年	管弦打	第1位 (チューバ) 第2位 (ヴァイオリン)	西村 弥子 二田 浩衣	アメリカ (ペンシルヴァニア) ノルウェー (ベルゲン)
第16回	2004年	声楽	第1位 第2位 第2位	九嶋香奈枝 早坂 佳子 谷地田みのり	イタリア (ミラノ) ドイツ (ベルリン) イタリア (ローマ)
第17回	2005年	ピアノ	第1位 第2位	荒川茉莉子 新堀 聡子	アメリカ (ブルーミントン) ドイツ (ヴェルツブルク)
第18回	2006年	管弦打	第1位 (フルート) 第2位 (ヴァイオリン)	南 加奈子 斉藤佳奈美	フランス (パリ) アメリカ
第19回	2007年	声楽	第1位 第2位	前田奈央子 亀谷 泰子	オーストリア イタリア
第20回	2008年	ピアノ	第1位 第2位 第2位	小山 雪絵 伊藤 千尋 小崎ゆかり	イギリス (ロンドン) ノルウェー (ベルゲン) ドイツ (デュルンベルク)
第21回	2009年	管弦打	第1位 (ヴァイオリン) 第2位 (ファゴット) 第2位 (ホルン) 第2位 (ヴァイオリン)	武田 侑子 尾崎 菜々 伊藤 由依 島田 優香	ハンガリー (ケチケメート) ドイツ (ミュンヘン) ノルウェー (ベルゲン)
第22回	2010年	声楽	第1位 第2位 第2位	岡元 敦司 川島 沙耶 土谷 香織	イタリア (ボローニャほか) アメリカ (ポートランド)
第23回	2011年	ピアノ	第1位 第2位 第2位	三上絵里香 村田 孝樹 佐野 主閏	ドイツ (ケルン) ドイツ イスラエル
第24回	2012年	管弦打	第1位 (ヴァイオリン) 第2位 (打楽器) 第2位 (チェロ)	福井 遥香 長谷 翔太 大澤 哲弥	フランス (パリ)
第25回	2013年	声楽	第1位 第2位	中江 早希 土屋 優子	
第26回	2014年	ピアノ	第1位 第2位	伏木 唯 永沼絵里香	ドイツ (ベルリン)
第27回	2015年	管弦打	第1位 (チューバ) 第2位 (ヴァイオリン) 第2位 (ヴァイオリン)	福井 瑞希 朝倉 愛 山崎 夏摘	ドイツ (カールスルーエ)
第28回	2016年	声楽	第1位 第2位 第2位	山田 花織 吉田真樹子 志村 麻衣	イタリア (ミラノ) ハンガリー (ブダペスト) ロシア (ウラジオストク)
第29回	2017年	ピアノ	第1位 第2位 第2位	横山 瑠佳 下田絵梨花 大平 達也	オーストリア (予定) ドイツ (シュットアウトガルト)

主催 協賛 NPO法人 北海道国際音楽交流協会(ハイメス)
 後援 北海道、北海道教育委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北広島市、北広島市教育委員会
 協賛 宝石の玉屋